



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月13日

上場会社名 株式会社マネジメントソリューションズ 上場取引所 東
コード番号 7033 URL <https://www.msols.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 啓
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 玉井 邦昌 TEL 03-5413-8808
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2023年11月1日～2024年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	14,275	15.7	1,595	15.6	1,605	12.8	1,074	12.6
2023年10月期第3四半期	12,342	47.0	1,380	422.2	1,422	415.7	954	508.6

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 1,084百万円 (13.9%) 2023年10月期第3四半期 952百万円 (436.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	64.78	—
2023年10月期第3四半期	57.59	57.56

(注) 2024年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	7,666	5,101	65.3
2023年10月期	7,032	4,302	59.8

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 5,002百万円 2023年10月期 4,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	—	18.00	18.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2023年11月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,600	—	2,700	—	2,710	—	1,940	—	116.90

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2024年1月30日の第19回定時株主総会の決議により、決算日を10月31日から12月31日に変更しております。当該変更に伴い、決算期変更の経過期間となる当連結会計年度の期間は、2023年11月1日から2024年12月31日までの14ヶ月間となっておりますので、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	16,822,700株	2023年10月期	16,816,800株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	228,441株	2023年10月期	226,541株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	16,592,835株	2023年10月期3Q	16,581,099株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社の業績は、期中で新たに採用したコンサルタントの売上高が在籍期間とともに積み上がるため、売上高、利益は下期、来期以降に貢献いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の一段の進行や個人消費の伸び悩みがあったものの、引き続き堅調な設備投資需要などにより、緩やかな回復基調となりました。

一方で海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクがあり、物価の上昇や金融資本市場の変動、中東情勢の緊迫化や米国大統領選挙など、海外動向を注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループの事業領域であるプロジェクトマネジメントの分野におきましては、引き続き需要が旺盛であるDX（デジタル・トランスフォーメーション）等において、組織変革も含めたより価値のある支援への必要性は高まり、プロジェクトマネジメント支援に対する引き合いは中長期的にも堅調に推移するものと予測しております。

当社は、「Managementにおける社会のPlatformとなり、組織の変革及び自律的な個人の成長を促す」をビジョンとして掲げ、当社のプロジェクトマネジメント手法の活用を紹介、提案することにより、様々な業種・業態の新規顧客を積極的に獲得してまいりました。

加えて、事業領域の拡大と継続的な収益確保に向けた取り組みとして、人材の積極採用及び教育体制の整備によるコンサルタントの安定確保及びリスクマネジメント強化によるアカウントマネージャーの育成を積極的に推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は14,275,648千円（前年同期比15.7%増）、営業利益は1,595,583千円（前年同期比15.6%増）、経常利益は1,605,272千円（前年同期比12.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,074,883千円（前年同期比12.6%増）となりました。

当社グループはコンサルティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、5,800,710千円となり、前連結会計年度末と比較して824,021千円増加しております。主な要因は、現金及び預金が499,550千円、受取手形及び売掛金が308,072千円増加したことによるものであります。なお、当第3四半期連結会計期間末における流動資産の総資産に対する割合は75.7%となっており、高い流動性を確保しております。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、1,866,218千円となり、前連結会計年度末と比較して189,822千円減少しております。主な要因は、無形固定資産ののれんが48,504千円、投資その他の資産のその他が84,328千円減少したことによるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、2,421,182千円となり、前連結会計年度末と比較して359,505千円増加しております。主な要因は、未払法人税等が328,140千円、その他が152,668千円減少したものの、短期借入金400,000千円、一年内返済予定の長期借入が492,326千円増加したことによるものであります。なお、借入金の増加は、売上拡大による運転資金増加によるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、143,795千円となり、前連結会計年度末と比較して524,986千円減少しております。主な要因は、長期借入金が522,586千円減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、5,101,951千円となり、前連結会計年度末と比較して799,679千円増加しております。主な要因は、利益剰余金が776,258千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期会計期間の売上高5,000百万円～5,200百万円、営業利益650百万円～725百万円、第5四半期会計期間の売上高3,325百万円～3,700百万円、営業利益455百万円～480百万円を見込んでおり、通期連結業績予想については、2024年6月14日付の「2024年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました数値から変更はありません。

なお、当社の業績は、期中で新たに採用したコンサルタントの売上高が在籍期間とともに積み上がるため、売上高、利益は下期、来期以降に貢献いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,640,389	3,139,939
受取手形及び売掛金	2,189,331	2,497,404
その他	146,967	163,366
流動資産合計	4,976,689	5,800,710
固定資産		
有形固定資産	614,915	605,193
無形固定資産		
のれん	334,140	285,636
その他	437,868	422,456
無形固定資産合計	772,008	708,093
投資その他の資産		
敷金及び保証金	472,230	440,373
その他	196,886	112,558
投資その他の資産合計	669,117	552,932
固定資産合計	2,056,041	1,866,218
資産合計	7,032,730	7,666,929
負債の部		
流動負債		
買掛金	292,392	240,380
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	38,822	531,148
未払法人税等	559,095	230,955
その他	1,171,366	1,018,698
流動負債合計	2,061,676	2,421,182
固定負債		
長期借入金	611,927	89,341
その他	56,855	54,454
固定負債合計	668,782	143,795
負債合計	2,730,458	2,564,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	668,592	676,059
資本剰余金	549,570	557,037
利益剰余金	3,350,123	4,126,381
自己株式	△390,318	△390,318
株主資本合計	4,177,967	4,969,160
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	28,570	33,599
その他の包括利益累計額合計	28,570	33,599
非支配株主持分	95,734	99,191
純資産合計	4,302,272	5,101,951
負債純資産合計	7,032,730	7,666,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
売上高	12,342,958	14,275,648
売上原価	7,828,753	8,409,046
売上総利益	4,514,204	5,866,601
販売費及び一般管理費	3,134,053	4,271,017
営業利益	1,380,151	1,595,583
営業外収益		
受取利息	336	1,398
受取配当金	2	—
為替差益	2,970	—
投資有価証券売却益	14,999	—
受取補償金	12,587	—
保険解約返戻金	10,595	11,589
その他	8,348	6,022
営業外収益合計	49,840	19,010
営業外費用		
支払利息	6,981	6,418
為替差損	—	840
和解金	—	2,000
その他	67	62
営業外費用合計	7,049	9,321
経常利益	1,422,943	1,605,272
税金等調整前四半期純利益	1,422,943	1,605,272
法人税、住民税及び事業税	441,127	498,297
法人税等調整額	17,823	28,191
法人税等合計	458,951	526,488
四半期純利益	963,991	1,078,783
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,097	3,900
親会社株主に帰属する四半期純利益	954,893	1,074,883

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
四半期純利益	963,991	1,078,783
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△11,652	5,595
その他の包括利益合計	△11,652	5,595
四半期包括利益	952,339	1,084,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	944,402	1,079,912
非支配株主に係る四半期包括利益	7,936	4,465

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	142,790千円	178,325千円
のれん償却額	48,504千円	48,504千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、コンサルティング事業を提供する単一セグメントであり重要性が乏しいため、記載を省略しております。